



アエファ

AEFFA 通信

アジア教育友好協会

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 2-14-49
電話 03(3506)7302 /FAX 03(3506)7301

岩手県紫波町立星山小学校

フレンドシップ校のベトナムの先生を落成式にご招待！



全校生徒と交流授業

星山小学校の新校舎落成式が4月28日に行われ、ベトナムのフレンドシップ校、フーカンB小学校のリン校長先生と教育庁のホー先生が、建設に従事した関係諸氏のカンパにより、招待されました。



星山小学校の先生方と記念撮影

星山小学校で行われた交流授業では、子どもたちからの質問に答えたり、簡単なベトナム語を教えたり、ベトナムの遊び“ダーカウ”を披露したりしました。

ベトナムと交流している同町立上平沢小学校も訪問、他にも地元の人々と交流する機会を持ちました。紫波のみなさんの心からの歓迎と温かい人柄に触れ、先生方は心のこもった交流に感激していました。



子どもたちと一緒に食べた給食



木のぬくもりがあたたかい校舎



盛大に行われた落成式



上平沢小学校の3年生と



支援してくれた工務店関係者

町田市立小山田小学校

手作りの竹炭を販売、タイの学校へ寄附

4月7、8日の町田の桜祭りで、6年生が手作りの竹炭を販売、その売上金(42,250円)をサムソップ小学校に寄附しました。



地域の小山田会のブースの一角を借り、子供たちが首から箱をつるし、駅弁を売るような形で販売しました。祭り当日は休日にもかかわらず、先生方全員と父兄も協力してくれました。

竹炭作りは環境教育の取り組みとして、子供たち自身が竹を切り、乾かし、煙りを吸いながら焼いてできた、価値ある商品です。タイのサムソップ小学校の子供たちの為に、一生懸命売りました。

竹炭を作るようになって今年で4年目。炭焼き窯に風を送る為にうちわを使うか、送風機を使うか、など試行錯誤を重ねてきましたが、製品の完成度は年々良くなっています。パッケージも、ペットボトルとネットに入れたりして、包装を工夫して考えていました。

久米島町立仲里小学校

中国・雲南についてのお話し会

仲里小学校は「ホテル」をテーマに中国雲南省の日中藤誼小学校と交流をしています。5月8日、AEFFAの谷川理事長と交流のご縁を作ってくださった福井工大の草桶教授が同校を訪問しました。さすが南国の学校！校庭には、枝から根を降ろす南国特有のガジュマルが大きく茂り、木陰を作っています。交流の主役、5年生の皆さんに中国のお友達が住む地域のお話を



中国の学校の様子を話す谷川理事長



熱心に話しを聴く5年生

してきました。雲南のお祭り時の美しい帽子や、民族衣装を触ったり被ったり、興味深く見る目がキラキラ輝いていました。これからの交流が楽しみです。



津市立南が丘小学校 オーストラリアとベトナムとの交流 世界に広がる国際交流

三重県津市立南が丘小学校の中山校長先生が、ベトナムのティンジン小学校とのフレンドシップ協定書に調印しました。南が丘小学校はすでにオーストラリアのリザボル・ウェスト小学校と交流をしています。ベトナムの学校との交流は、子供達にとって、新しい世界を広げる機会です。

AEFAの遠藤事務局長は、ここで4年間、民間出身の校長先生として活躍。この経験が、アジアでの学校創り、日本の子供との国際交流に活かされます。

遠藤事務局長と子供たち



協定書に調印する中山校長先生



中山校長と新家・白根教頭



横浜雙葉高校・鶴山小学校からソップワーク小への寄付 にわとり・カエルの農業プロジェクトに

横浜雙葉高校と鶴山小学校から、タイのソップワーク小学校へそれぞれバザーの売上げや募金活動で集めた寄附金が進呈されました。先日、その寄附金を「農業活動のにわとり、カエル、豚を買うお金に充当していきたい」と、ソップワーク小学校から報告がありました。

山の生活では、食べていくために農業は欠かせません。ソップワーク小学校の農業プロジェクトでは、子供たちが野菜、きのこを育て、なまずを飼育。育てる技術を学ぶと同時に、自分達の給食を賄っています。

今後、このにわとり、カエル、豚がどのように育てられ、食に供されて行くのか報告が楽しみです。無事に育ってくれますように！



農業活動に取り組む子供たち



証明書付きで届いた領収書

横浜市立二俣川小学校

アジアの隣人をより身近に！



カムサドパド小学校のみなさん、こんにちは

日本の首都は東京ですが、私たちの学校は、東京から電車で30分くらい離れている横浜にあります。丘の上に立つ白い学校、これが1873年にできた私たちの横浜市立二俣川小学校です。

私は、第22代校長として2005年4月にこの学校に着任しました。ここに来る前は、ドイツにある日本人学校の校長を3年間務めてきました。ドイツに行く前、1998年から約4年間勤務したいちょう小学校には、ベトナムやカンボジア、タイ、ラオスの国から戦争を避けて避難してきた家族の子どもたちがたくさん通って来ていました。ですから、今度、みなさんの学校を紹介していただいたとき、前から知っている友達のような気がしました。

これからは、私たちの学校とみなさんの学校が、手紙を交換したり、お互いの国や学校のことを知らせあったりして、いつまでも友だちでいたいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学校長 瀬野尾 千恵



協定書にサインする瀬野尾校長先生

子どもたちからの自己紹介カード

AEFA活動報告

＜新フレンドシップ校＞ 今年度のAEFA建設校と交流する、新フレンドシップ校が続々誕生しています。

ラオス 旭丘小学校(岡山県)、毛利小学校(東京都)、マリアズ・ベビーズ・ソサエティー(東京都)、杜松小学校(東京都)、二俣川小学校(神奈川県)

ベトナム 河和田小学校(福井県)、千秀小学校(神奈川県)、南が丘小学校(三重県)、保土ヶ谷中学校(神奈川県)

＜カバン・子供服のご寄附ありがとうございました＞

海外への支援品など、荷物を運ぶ際のカバンを会員みなさまに呼びかけたところ、本当に沢山の方からご協力を頂きました。本当にありがとうございました。

5月の出張直前に、ラオスから子供服を必要としているとの連絡があり、会員の大石様、新関様より早速ご寄附頂きました。ありがとうございました。



大石様(左)・新関様(中央)・ご寄附頂いたカバン(右)